



## 人にやさしい情報システムのデザイン 感性情報処理



吉田 香 准教授

近年の情報技術の発達により、いつでも誰でも情報を発信・受信できるようになってきました。ユビキタス社会と呼ばれるこのような情報社会では、人と情報システム、さらには、情報システムを通じた人と人との関係のあり方が重要になってきます。そこで、吉田香研究室では、情報システムを利用する人を理解し、人の特性と情報技術を融合的に扱うことで、より人にやさしい情報システムをデザインするための研究開発を行っています。

そのひとつに、感性情報処理という研究があります。ここでは、主観や感性と結びついていると考えられる要因を探り、情報システムで扱うことができるように翻訳し、情報システムのデザインに応用します。例えば、わたしたちの感じ方に近い検索結果を得ることができる情報検索、欲しいと思っていたものをタイミングよく見つけることができる情報推薦、アバターやパートナーとして喜怒哀楽を表現できるロボット、などに応用することが考えられます。

感性情報処理は、わたしたちの暮らしをより楽しくより豊かにするための技術です。情報システムをデザインするだけでなく、情報システムを利用する人を理解することが、わたしたち自身を理解することにつながると考えています。

### 研究室の学生に聞く

研究を通して得たものは、  
目標に向かってあきらめない力



椎葉 大地さん

修士2年

吉田香研究室のメインテーマは「感性」。私は、個人の感性を反映したフォトタッチシステムを開発しています。面白いのは、人間の感性という曖昧なものを扱うため、答えが無数にある点。世界中のユーザに使ってもらうことを目指し、開発に取り組んでいます。

その中で私が得たものは、自己管理能力と幅広い視野、そして「あきらめない力」。遠回りでも目標に向かっていけば、結果は必ずついてくるということを学びました。

